

◆◆◆教員・教師・先生◆◆◆

■つい先日、「教員採用試験」への受験者が少なくなっている、という記事を目にしました。
県によっては、「定員割れ」というところもあるそうです。
また、教職の道に就いて歩み始めたばかりというのに
職を辞する、という話もしばしば耳にするようになりました。
悲しみとも寂しさとも怒りとも諦めとも言えない、
言葉にするのが難しい気持ちです。



■平成元年度。
教職に就いた私がどうにかこうにか一年間の初任者研修を終わろうとしていたとき。
校長先生からある書籍を紹介していただきました。
「父親としての愛の書簡集～継ぎゆく者へ魂をこめて」。
そこには、大槻幹雄先生の次の言葉が紹介されていました。

一日のメシのために働くとは 教員ばな
自分の技術技能ば教ゆっとは 教師ばい
生徒の心に灯りを点ずるとが 先生たい

4月に初任者として南風小学校に赴任された三名の先生方。
今、最後の授業研究に向けて初任者指導担当の中村章子先生、同学年の先生方の導きと
支えを受けて精いっぱい準備をすすめられています。
初任者研修の閉講式、一つの区切りがつくその日には、先生方に向けて大槻先生の言葉を
引きながら私も魂をこめて精いっぱいの言葉を贈りたいと思います。